

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●福永祐一騎手がJRA通算2500勝を達成

9月26日(日)の5回中京7日・第4レースではドライスタウトが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は史上5人目、現役では3人目となるJRA通算2500勝(1万8670戦目)を達成しました。

●石橋守調教師がJRA通算100勝を達成

9月25日(土)の5回中京6日・第9レースとして行われた野路菊Sではロンが1着となり、同馬を管理する石橋守調教師(栗東)は、現役151人目となるJRA通算100勝(延べ1777頭目)を達成しました。

●ウメノファイバーが死亡

9月12日(日)、ウメノファイバー(牝25歳)が老衰のため死亡しました。同馬は1999年優駿牝馬(オークス)(GI)を制するなどJRA通算16戦4勝の成績を残し、現役引退後は北海道新冠町の株式会社ハクレイファームに繁殖牝馬として繋養されていました。

●ジョッキーベイビーズの開催取り止め

全国ポニー競馬選手権「第12回ジョッキーベイビーズ」は、3地区(北海道・東海・九州)の予選が終了したものの、新型コロナウイルスの影響により、その後の円滑な実施が困難となったため、残り4地区(東北新潟・関東・関西・沖縄)の予選、および10月10日(日)に東京競馬場で開催される予定だった決勝大会は取り止めとなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●牝馬サルサディオオーネが日本テレビ盃(船橋)を逃げ切り勝ち

日本テレビ盃(JpnII、9月29日、船橋、1800m)は、先手を取った2番人気の大井所属馬サルサディオオーネ(矢野貴之騎手、牝7歳、父ゴールドアリュール)が3番人気のダノンファラオを半馬身抑え、4度目のダートグレード競走制覇。メイショウダジンが3着、ラストマンが4着に入り、単勝1.5倍で断然人気のクリソペリルは2番手追走も失速して6着に敗れました。

●戸塚記念(川崎)は伏兵セイカメテオポリス【各地の主要3歳重賞】

戸塚記念(9月15日、川崎、2100m)は、中団から内目を突いて伸びた7番人気のセイカメテオポリス(牝、父マジステックウオリアー)がゴール前で差し切り勝ち。逃げた1番人気のジャパングートダービー馬キャスルトップは6着に沈んでいます。

●10月6日の東京盃(大井)はリュウノユキナが有力

東京盃(JpnII、10月6日、大井、1200m)は、今年JpnIII 2勝のリュウノユキナが中心、レッドルゼル、コパノキッキングが続き、サブジュニア(大井)、サクセスエナジー、サイクロトロンまでが争覇圏内と考えられます。

●ウエルドーンらが参戦、10月7日のレディスプレリユード(大井)

レディスプレリユード(JpnII、10月7日、大井、1800m)は、3歳馬ウエルドーンが筆頭格、以下テオレーマ、レーヌブランシュ、グランDESTラダー(大井)、ダイアナブライト、クリスティの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ペンシルベニアダービー～ホットロッドチャーリーが逃げ切る

9月25日に米国ペンシルベニア州のパークスレーシング競馬場で行われたG1ペンシルベニアダービー(3歳、ダート1800m)はF. プラ騎手とともに逃げたホットロッドチャーリー(牝、父オックスボウ、D. オニール厩舎)がミッドナイトバーボンに2馬身½差をつけて優勝。G1初制覇を果たしました。ホットロッドチャーリーは今年3月のG2ルイジアナダービー(ダート1900m)でミッドナイトバーボンを下して重賞初制覇。その後、G1ケンタッキーダービー3着、G1ベルモントS2着を経て、前走のG1ハスケルSでは1位入線を果たしましたが、ミッドナイトバーボンの走行を妨害して、落馬させたとして最下位に降着となっていました。

●G1コティリオンS～クレリエールが突き抜ける

上記G1ペンシルベニアダービーの1レース前に行われたG1コティリオンS(3歳牝、ダート1700m)はR. サンタナJr. 騎手を背に6番手でレースを進めたクレリエール(父カーリン、S. アスムッセン厩舎)が直線で突き抜けて2馬身半差で快勝しました。クレリエールは今年2月のG2レイチェルアレクサンドラS(ダート1700m)で重賞初制覇。その後、G1ではケンタッキーオークスが4着、CCAオークスが3着、前走のアラバマSが2着でしたが、今回4度目の挑戦でG1初制覇となりました。